

令和4年度 文化行政課事業概要について

別添資料のとおり

※令和4年第1回（3月）上越市議会定例会文教経済常任委員会資料

- ① 歴史文化推進費
- ② 春日山城跡保存整備事業
- ③ 市内遺跡発掘調査事業
- ④ ほ場整備等遺跡発掘調査事業
- ⑤ 埋蔵文化財センター管理運営費
- ⑥ 「弥生のムラ」コミュニティパーク事業
- ⑦ 歴史的建造物等整備支援事業

歳出科目（P 324～P 325）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史文化推進費	8,442	8,872	△430

主な財源		主な経費	
諸収入	2,446	報酬	1,943
一般財源	5,996	旅費	988
		需用費	1,025
		委託料	1,212
		負担金補助及び交付金	2,356

## 【目的】

- ・ 県内最多を誇る 373 件の指定文化財の保存・伝承に努めるとともに、新たな文化財の指定を行うことにより、適切な保護を図り、活用を促進する。
- ・ 上越市「地域の宝」認定制度の運用により、有形・無形、文化財の指定・未指定に関わらず、地域住民が大切に守り伝え、心のよりどころとする文化財の次世代への継承を図るとともに、魅力ある地域づくりの一助とする。
- ・ 日本遺産の認定を受けた北前船寄港地として、パネル展の開催や北前船日本遺産推進協議会の活動等を通じて関係自治体との交流を図りながら、歴史や文化を更に周知し、市民の郷土への誇りと愛着の醸成を図る。

## 【実施内容】

- ・ 文化財調査審議会の開催
- ・ 文化財等の調査及び関連資料の収集
- ・ 指定文化財の管理、保存団体への補助
- ・ 市所有史跡の草刈り、遊歩道整備等の実施
- ・ 上越市「地域の宝」の募集・認定
- ・ 上越市「地域の宝」の次世代への継承に必要な助言、情報発信、活動団体同士の緩やかなネットワークづくりの下支え
- ・ 北前船ゆかりの県内自治体と連携したパネル展や小中学校での地域学習の実施
- ・ 北前船日本遺産推進協議会事業
- ・ 北前船寄港地フォーラムへの参加（開催地：沖縄県那覇市）
- ・ こしのくに国府フォーラムの開催
- ・ 御城印頒布による城跡の魅力発信及び周遊の促進

(参考) 文化財指定件数 373 件

種別	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡・典籍	古文書	考古資料	歴史資料	無形文化財	民俗文化財	史跡・名勝	天然記念物	計
国	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	4	1	11
県	1	2	8	8	6	0	5	1	0	1	4	3	39
市	13	16	58	10	13	30	50	41	0	39	26	27	323
計	15	18	70	18	19	30	55	42	0	41	34	31	373

- ・ 国登録有形文化財（建造物）件数 35 件
- ・ 上越市「地域の宝」件数 86 件 ※上記件数は全て令和 4 年 1 月末現在

歳出科目（P 324～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日山城跡保存整備事業	13,229	13,345	△116

主な財源		主な経費	
一般財源	13,229	報酬	549
		需用費	1,155
		委託料	9,331
		使用料及び賃借料	422
		工事請負費	1,419
		原材料費	269

## 【目的】

春日山城跡を風雨等による損傷から守り、適切な維持管理を行うとともに、地域学習の教材として利活用を図る。

## 【4 年度目標】

- ・土砂崩落や倒木、鳥獣被害等による遺構損傷を防ぎ、城跡の保護を図る。
- ・土の一袋運動等、市民協働で城跡保全を図る。
- ・曲輪や空堀、土塁など山城の特徴を体感できるよう修景を図る。
- ・春日山城跡ものがたり館入館者数：17,000 人  
（令和元年度：26,122 人、令和 2 年度：16,475 人、令和 3 年度見込み：16,700 人）

## 【実施内容】

- ・降雨時の状況把握などの日常点検のほか、遊歩道・法面等の修繕、低木伐採及び下草刈りを行う。
- ・植生管理や適切な雨水管理、鳥獣被害対策等について、専門家（植生・土木・災害復興科学）の指導を受けるとともに、関係課と連携を図り、城跡の保存・修景に取り組む。
- ・市民団体や地元小中学校との協働による土の一袋運動や、草刈りや松葉かきなどの美化活動等に取り組む。
- ・城跡の散策や保全活動を行う講座（年 3 回）を開催する。
- ・地元管理組合に春日山城史跡広場及び春日山城跡ものがたり館等の管理を委託する。  
委託先：春日山城史跡広場管理組合  
（地元 5 町内〔大豆、春日、中門前、谷愛宕、春日野〕で組織）  
内 容：史跡広場及び史跡保存用地の草刈り、修繕（広場内の腐食した杭・木柵等の交換）、施設管理（受付、案内、清掃業務）、大手道の維持管理等
- ・カキツバタ（大手道入口、監物堀<sup>けんもつぼり</sup>）の維持管理、春日山城跡ものがたり館排煙オペレーター<sup>オペレーター</sup>の修繕等を実施する。
- ・「日本 100 名城」スタンプラリーを実施する。

歳出科目 ( P 326 ~ P 327)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-----------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市内遺跡発掘調査事業	13,131	11,881	1,250

主な財源		主な経費	
国庫支出金	6,562	報酬	2,292
県支出金	1,271	委託料	4,002
一般財源	5,298	共済費	118
		需用費	682
		使用料及び賃借料	5,689
		原材料費	146

【目的】

各種開発事業から遺跡を保護するため、発掘調査を行い、開発事業との円滑な調整を図る。

【実施内容】

(1) 事業主体から依頼を受けた次の 12 地区等について、発掘調査を実施する。

調査種別	No	開発事業名	地区名	工事計画面積 (調査対象面積 ha)
試掘・確認 調査	①	県営ほ場整備	中江有田地区	22.00
	②		石沢地区	12.00
	③		島田地区	20.00
	④		吉川区原之町地区	8.00
	⑤		大湊区・吉川区東湊地区	16.00
	⑥		三郷地区	15.00
	⑦		和田北部地区	5.00
	⑧		青野地区	10.00
	⑨	民間宅地造成	国府	0.40
	⑩	農村地域防災減災	板倉区針	0.98
	⑪	都市計画道路建設	黒井藤野新田線	1.60
本発掘調査	⑫	県営ほ場整備	大湊区・吉川区東湊地区	0.20
合計				111.18

※ 県営ほ場整備事業に係る本発掘調査 (⑫) に要する経費のうち、「農家負担分」を本事業から支出する。

(2) 発掘調査報告書作成

『市内遺跡発掘調査概要報告書』の刊行

各種開発事業に伴う調査結果を概要報告書として公開する。

- ・試掘調査：地表面の観察等からでは判断できない場合に行う埋蔵文化財の有無を確認するための部分的な発掘調査
- ・確認調査：周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲、性格、内容等の概要までを把握するための部分的な発掘調査
- ・本発掘調査：開発などで埋蔵文化財が失われる範囲について、その内容など詳細を記録保存するための発掘調査

歳出科目（P 326～P 327）	10款5項6目	文化財保存調査費
-------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ほ場整備等遺跡発掘調査事業	179,567	154,276	25,291

主な財源		主な経費	
県支出金	179,563	報酬	4,629
一般財源	4	旅費	354
		職員手当等	993
		需用費	319
		共済費	1,075
		委託料	172,197

## 【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業地内において遺跡の発掘調査を行い記録保存する。

## 【実施内容】

## (1) 本発掘調査

調査原因：県営ほ場整備事業

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
五十刈遺跡	集落跡	大潟区・吉川区 東潟地区	縄文・古 代	2,000 m <sup>2</sup>

※ 上記に要する経費のうち、「農家負担分」を除いた経費について本事業から支出する。

調査原因：上越魚沼地域振興快速道路建設

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
立場遺跡 ・蓮花寺五輪塔 群	遺物包含地 ・石塔	三和区末野	古代・中 世	4,145 m <sup>2</sup>

## (2) 整理作業

作業内容：令和元～3年度の本発掘調査で出土した遺物等の整理作業

調査原因：上越魚沼地域振興快速道路建設

遺跡名	種類	所在地	時代	調査面積
神田原山窯跡	窯跡	三和区神田	古代	1,500 m <sup>2</sup>
原山遺跡	集落跡	三和区神田	縄文	5,800 m <sup>2</sup>
柘形城跡	城館跡	三和区末野	中世	895 m <sup>2</sup>



柘形城跡発掘調査風景

歳出科目（P 326～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
埋蔵文化財センター管理運営費	12,480	11,239	1,241

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	4	報酬	4,054
財産収入	18	役員手当等	473
一般財源	12,458	需用費	4,530
		役務費	165
		委託料	2,166
		使用料及び賃借料	546

## 【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究・保存管理・普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館などを結ぶ歴史巡りのルートとして活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

## 【4年度目標】

入館者数：23,000人

（令和元年度：33,312人、令和2年度：20,298人、令和3年度見込み：22,800人）

## 【実施内容】

## (1) 調査研究

- ・遺跡の発掘調査成果を記録として保存する。
- ・出土品等に関する情報収集や資料調査などを行う。
- ・発掘調査の成果を報告書等にまとめ、公開する。

## (2) 保存管理

- ・発掘調査で収集した出土品等を整理（水洗、注記、接合、復元、写真撮影、図化など）し、適切に保存するとともに、資料の公開・活用ができるよう管理する。

## (3) 普及公開

- ・主に縄文時代から戦国時代を対象とした通史的な展示のほか、上杉謙信公や春日山城跡に関する資料等の展示により、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。
- ・各地の博物館、資料館等に資料を貸し出すことで、広く市外での公開にも努める。
- ・収集した図書、発掘調査報告書、各種関連資料を公開し、市民の利用に供する。
- ・学校教育との連携を図り、小中学生の利用を促進するほか、生涯学習の場として活用を図る。

## (4) 維持管理

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

## 【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日
観覧料	無料

歳出科目（P 326～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
「弥生のムラ」コミュニティパーク事業	18,127	16,415	1,712

主な財源		主な経費	
諸収入	110	報酬	4,263
一般財源	18,017	職員手当等	710
		共済費	866
		需用費	1,775
		委託料	9,664
		使用料及び賃借料	473

## 【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の保存・活用を図る。

## 【4 年度目標】

- ・歴史講座等の実施により、市民に郷土への関心や理解を深めてもらう。
- ・釜蓋遺跡ガイダンス入館者数：10,000 人  
（令和元年度：21,011 人、令和 2 年度：8,934 人、令和 3 年度見込み：9,600 人）

## 【実施内容】

## (1) 保存

- ・史跡隣接地の一部について、追加指定を進め保存を図る。

## (2) 活用

- ・これまでの「釜蓋遺跡ガイダンス定期講座」を充実させ、各区の出土品の展示・解説や初心者向けの講座、体験を取り入れた講座などを「(仮称) じょうえつ歴史講座」として実施することにより、上越の歴史文化の魅力を発信する。
- ・小学校の総合的な学習の時間や歴史学習の場として施設を活用する。
- ・勾玉や土器づくり等に加え、発掘現場で採取した土を水洗いし、細かな出土品（石器など）を探す体験活動を試験的に実施し、釜蓋遺跡の新たな魅力発信につなげる。
- ・遺跡応援団との連携による体験活動や「吹上・釜蓋遺跡春まつり」などのイベントを実施する。
- ・釜蓋遺跡公園を屋外ローカル 5 G ラボとしての利活用に供する。

## (3) 維持管理

- ・吹上遺跡及び釜蓋遺跡の草刈りなど史跡の適切な維持管理を行う。
- ・釜蓋遺跡ガイダンスについて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

## 【施設の概要】

開館時間	午前 9 時～午後 5 時
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日
観覧料	無料

歳出科目（P 326～P 329）	10款5項6目	文化財保存調査費
-------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史的建造物等整備支援事業	12,723	7,530	5,193

主な財源		主な経費	
財産収入	1	一般財源	84
寄附金	20	報償費	50
繰入金	12,618	旅費	34
		負担金補助及び交付金	12,618
		積立金	21

## 【目的】

市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に対し、補助金を交付することにより、歴史的建造物等の保存と活用を図る。

## 【4年度目標】

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付件数：2件

## 【実施内容】

- ・対象事業 歴史的建造物及び産業遺産の保存又は改修に係る事業で、主体的なまちづくり活動による地域コミュニティの形成に資するもの
- ・補助率 3/4（限度額7,500千円）
- ・財源 歴史的建造物等整備支援基金
- ・認定 建築や歴史の専門家で構成する選定審査会の答申を経て、実施事業を認定
- ・交付決定 認定後、交付申請に基づき補助金の交付を決定

<これまでの補助金の交付状況（令和3年度は交付見込み）>

年度	件数	支援対象	金額
平成21年度	3件	高田世界館、林富永邸、旧頸城鉄道百間町駅構内線路	14,502
平成22年度	3件	林富永邸、平出修旧居、旧川上小学校体育館	18,178
平成23年度	1件	飯田邸	1,579
平成24年度	1件	飯田邸	5,921
平成26年度	3件	旧頸城鉄道本社社屋、岩の原葡萄園石蔵、麻屋高野	16,855
平成27年度	2件	麻屋高野、高田世界館	8,337
平成28年度	2件	林富永邸、高田世界館	5,477
平成29年度	3件	林富永邸、高田世界館、料亭宇喜世	14,323
平成30年度	2件	白田邸、二本木駅	14,587
令和元年度	2件	鴨井邸、飯田邸	8,369
令和2年度	2件	鴨井邸、善徳寺経堂	8,354
令和3年度	1件	麻屋高野	4,265
合計	25件		120,747

※ 平成25年度は実績なし





上越市文化財の活用状況について（旧今井染物屋住宅 主屋・土蔵 附土蔵覆屋 1 棟）

## 1 文化財の概要について

指定年月日) 令和元年 8 月 21 日

種 別) 有形文化財 (建造物)

名 称) 旧今井染物屋住宅 主屋・土蔵 附 土蔵覆屋 1 棟

員 数) 2 棟

所 在 地) 上越市大町五丁目 5 番 7 号

所 有 者) 上越市長 中川 幹太 (企画政策部文化振興課)

経 緯)

○令和 2 年 6 月 4 日

- ・上越市文化財現状変更申請 (所有者→当委員会)

○令和 2 年 6 月 22 日

- ・上越市文化財現状変更の許可
- ・6 月 22 日付けで現状変更の許可 (当委員会→所有者)

○令和 2 年 8 月～令和 3 年 4 月

- ・旧今井染物屋住宅を地域の手仕事文化の継承と発信を行う拠点として活用するため、耐震改修工事等を実施。

○令和 3 年 4 月

- ・「旧今井染物屋」オープン

## 2 現在の活用状況等について